



福岡県立筑紫丘高等学校

主体的・対話的で深い学びの実践に向けた取組み

学校紹介 ・普通科1学年10クラス，理数科1学年1クラス ・部活動加入率85%超（体育部48%，文化部38%）

育成したい生徒の資質・能力

『高い学力，それを活用して課題を解決する力，新たなものを創造する力』



- ・十分な知識及び技能の習得
- ・主体的に学ぶ態度の育成
- ・他者との協働性の育成
- ・言語活動の充実による思考力，判断力，表現力の育成
- ・理数教育の充実を通じた課題解決能力の向上

総合的な学習の時間

- 『筑高ゼミ 個人研究』（1年次）
自ら課題を設定して論文を作成し，他者へ伝え相手を納得させる力を育成する。
- 『筑高ゼミ 小論文・ディベート』（2年次）
ディベートの技法を学び，論理的な構成の重要性を理解し，幅広い視野に立って物事を論じる力を養う。
- 『筑高ゼミ テーマ別ゼミナール』（3年次）
教科横断的な内容を含むテーマに基づいて講座を設定し，問題解決に向けて主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養う。

特別活動

- 『ホームルーム活動・生徒会活動』
学級審議等において，諸問題の解決に向けて様々な観点から議論する能力を養う。
- 『学校行事』
生徒が主体となって運動会や文化祭及び予餞会等の学校行事の企画・運営を行う。その際，担当部署毎に企画書や実施要項等を作成し，生徒に対し説明する機会を設け，実践的な文書を作成する技能及び論理的にわかりやすく説明する能力を養う。

各教科の取組み（具体的実践例）

- 数学（ジグソー法による問題解法研究）
→「ふりかえりシート」で評価

- 生物（生徒による調査・思考・整理）
→「ラーニングマップ」で評価

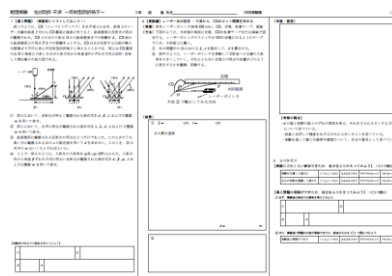
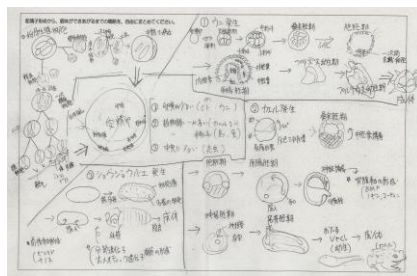
- 物理（実験前後での生徒の変化）
→「ポートフォリオ風レポート」で評価

評価基準	S	A	B	C	自己評価	
内容理解	内容理解を十分にしている。内容について深く理解できている。問題に対して、適切な知識を積極的に活用している。問題解決の過程で、自分の考えを積極的に述べている。	内容理解を十分にしている。内容について深く理解できている。問題に対して、適切な知識を積極的に活用している。問題解決の過程で、自分の考えを積極的に述べている。	内容理解を十分にしている。内容について深く理解できている。問題に対して、適切な知識を積極的に活用している。問題解決の過程で、自分の考えを積極的に述べている。	内容理解を十分にしている。内容について深く理解できている。問題に対して、適切な知識を積極的に活用している。問題解決の過程で、自分の考えを積極的に述べている。	内容理解を十分にしている。内容について深く理解できている。問題に対して、適切な知識を積極的に活用している。問題解決の過程で、自分の考えを積極的に述べている。	A
問題解決	問題解決に積極的に取り組んでいる。問題解決の過程で、自分の考えを積極的に述べている。問題解決の過程で、自分の考えを積極的に述べている。	問題解決に積極的に取り組んでいる。問題解決の過程で、自分の考えを積極的に述べている。問題解決の過程で、自分の考えを積極的に述べている。	問題解決に積極的に取り組んでいる。問題解決の過程で、自分の考えを積極的に述べている。問題解決の過程で、自分の考えを積極的に述べている。	問題解決に積極的に取り組んでいる。問題解決の過程で、自分の考えを積極的に述べている。問題解決の過程で、自分の考えを積極的に述べている。	問題解決に積極的に取り組んでいる。問題解決の過程で、自分の考えを積極的に述べている。問題解決の過程で、自分の考えを積極的に述べている。	B
コミュニケーション	コミュニケーションを積極的に取り上げている。コミュニケーションの過程で、自分の考えを積極的に述べている。コミュニケーションの過程で、自分の考えを積極的に述べている。	コミュニケーションを積極的に取り上げている。コミュニケーションの過程で、自分の考えを積極的に述べている。コミュニケーションの過程で、自分の考えを積極的に述べている。	コミュニケーションを積極的に取り上げている。コミュニケーションの過程で、自分の考えを積極的に述べている。コミュニケーションの過程で、自分の考えを積極的に述べている。	コミュニケーションを積極的に取り上げている。コミュニケーションの過程で、自分の考えを積極的に述べている。コミュニケーションの過程で、自分の考えを積極的に述べている。	コミュニケーションを積極的に取り上げている。コミュニケーションの過程で、自分の考えを積極的に述べている。コミュニケーションの過程で、自分の考えを積極的に述べている。	A
まとめ	まとめをしっかりと行っている。まとめの過程で、自分の考えを積極的に述べている。まとめの過程で、自分の考えを積極的に述べている。	まとめをしっかりと行っている。まとめの過程で、自分の考えを積極的に述べている。まとめの過程で、自分の考えを積極的に述べている。	まとめをしっかりと行っている。まとめの過程で、自分の考えを積極的に述べている。まとめの過程で、自分の考えを積極的に述べている。	まとめをしっかりと行っている。まとめの過程で、自分の考えを積極的に述べている。まとめの過程で、自分の考えを積極的に述べている。	まとめをしっかりと行っている。まとめの過程で、自分の考えを積極的に述べている。まとめの過程で、自分の考えを積極的に述べている。	A

評価基準を参考に、自己評価を右欄の枠内に入力してください。下の欄にも記入してください。

① ② ③ ④ ⑤

① ② ③ ④ ⑤

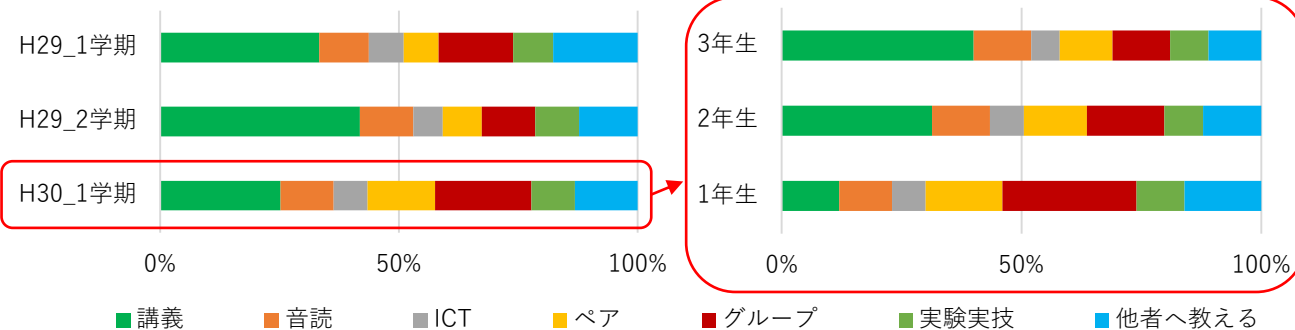


組織的取組みの経緯

- H28 定期考査に条件付記述問題出題，採点基準を解説にルーブリックで提示する。（←職員のルーブリック作成力向上）
- H29 生徒の振り返り活動の機会を積極的に盛り込む。（←振り返りをより深い学習の動機付けに生かす）
- H30 各教科毎に，単元のまとまりで担当教員間で共通ルーブリックによる評価を行う。

授業アンケートの結果（生徒回答）

深い学びのために最も効果的な授業の活動形式は？



今後の方向性

- ・組織的な評価方法および基準の確立 → 段階的なルーブリックの作成と活用（年度→学期→単元）
- ・講義形式とグループ形式を双方向で関連づけた授業改善（主体的に学びを深める動機付けを重要視）